

プロジェクト ASAF 対応

項目 本日の審議

本資料の目的

1. 本資料では、本日の企業会計基準委員会においてご議論いただく事項について説明することを目的としている。
2. なお、本資料は、2016年3月22日に開催予定の第39回ASAF対応専門委員会における議論を反映していない。今後、今回の親委員会開催までに、専門委員会の議論を踏まえて修正することを予定している。

ASAF 会議への対応**(2016年4月のASAF会議における議題)**

3. 2016年4月7日、8日にロンドンで開催されるASAF会議における議題は以下のとおり予定されている。

議 題	時間
2015年 アジェンダ協議へのフィードバック	60分
概念フレームワーク	120分
概念フレームワーク	
測定 (EFRAG)	
料金規制対象活動	90分
インフレの会計処理 (GLASS)	90分
共通支配下の企業結合	45分
IFRS 第9号と新たな保険契約基準の発効日の相違	90分
株式に基づく報酬	60分
IASBによるプロジェクトの近況報告とASAFの議題	75分
開示に関する取組み	
持分の特徴を有する金融商品	
動的リスク管理の会計処理	
リサーチ・プロジェクトの状況	
議題の計画	

(本日の議題)

4. 本日は、次の議題に関する ASAF 会議における対応案（または、対応の決定にあたって基礎とする ASBJ 事務局による気付き事項）についてご意見をいただきたい。
 - (1) 概念フレームワークプロジェクトの進め方（審議事項(4)-2 参照）
 - (2) 概念フレームワーク測定に関する EFRAG ペーパー（審議事項(4)-3 参照）
 - (3) 2015 年 アジェンダ協議へのフィードバック（審議事項(4)-4 参照）

5. なお、次の議題については、資料配布によることを予定しており、本日の当委員会において議論を行うことは予定していない。
 - (1) 株式に基づく報酬（審議事項(4)-1 参考資料 1 参照）
 - (2) 料金規制対象活動（審議事項(4)-1 参考資料 2 参照）
 - (3) IFRS 第 9 号と新保険契約基準の発効日の相違（審議事項(4)-1 参考資料 3 参照）
 - (4) IASB によるプロジェクトの近況報告（負債と資本の区分に関する部分）（審議事項(4)-1 参考資料 4 参照）

6. また、IASB によるプロジェクトの近況報告（負債と資本の区分に関する部分以外）については、これまでにいただいたご意見を踏まえ、適宜対応する予定である、

ディスカッション・ポイント

2016 年 4 月開催の ASAF 会議への対応について、ご質問やご意見があればいただきたい。

以 上